



1955年 富士市生まれ

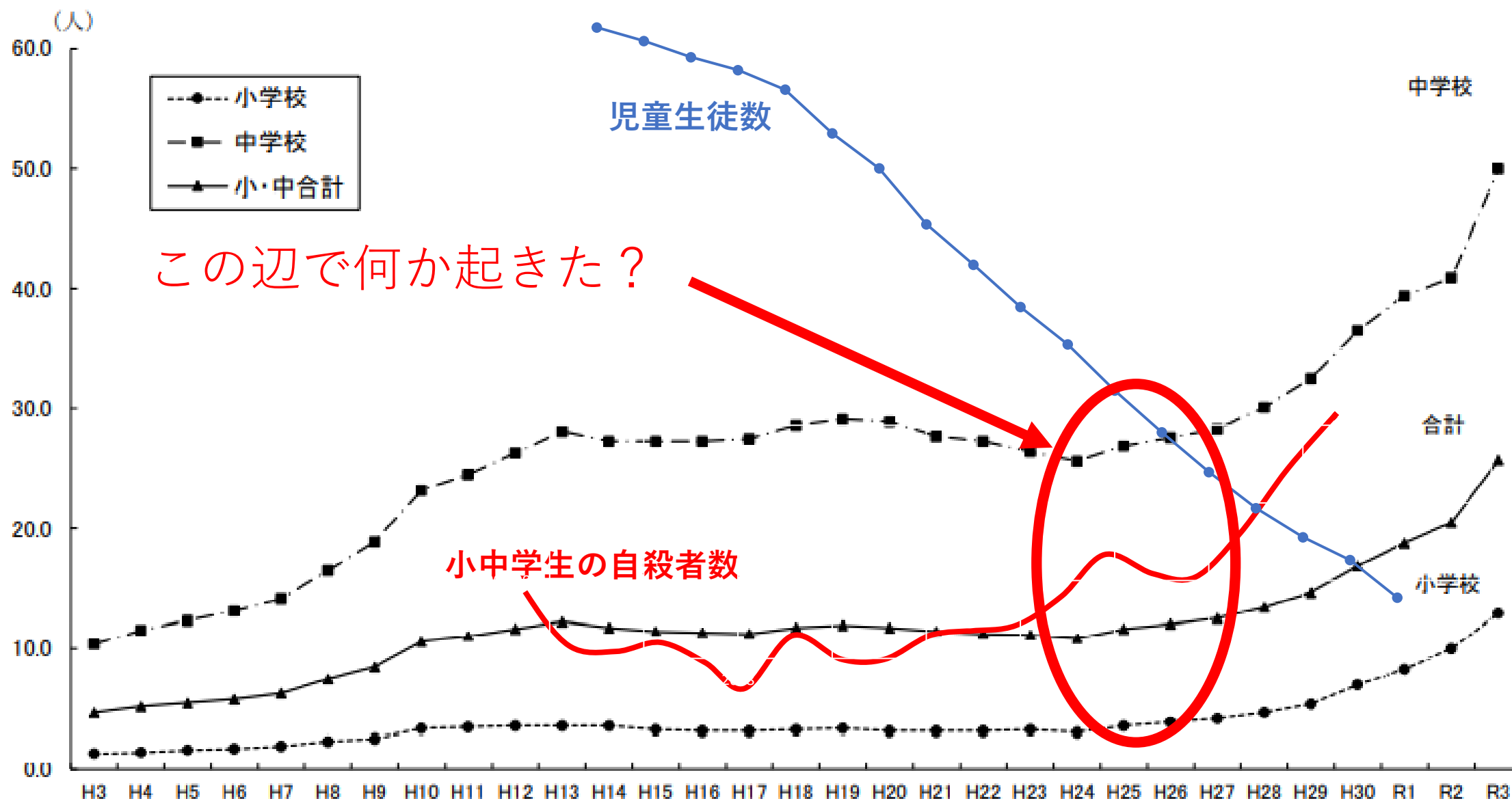
34年間 小学校 教務主任9年・教頭4年・校長5年  
途中3年間の組合専従。カンボジア教育支援などにかかわる。

現在は焼津市で、公立小学校と中学校5校で  
外国ルーツの子どもたちを教える

ボランティア暦

NPO法人開発教育教育Funclub理事長  
しずおか自主夜間教室代表

<参考3> 不登校児童生徒の割合(1,000人当たりの不登校児童生徒数)の推移のグラフ



# ゆとり教育

授業時間減・学校裁量の時間

学校隔週五日制 小1・2生活科

完全学校週五日制

総合的な学習

絶対評価導入

PISAテスト、日本点数↘

総合教育会議

学力学習調査開始

教員免許更新制開始

学習指導要領改訂、総合的な学習の時間↘

- ・ 職場の仲間意識↗
- ・ オレたちが学校を中心だ観
- ・ 特活がさかん
- ・ 子どもの実践力up
- ・ 自主企画のイベント

・ 生活科・総合への希望  
(子どもを離す・任せる)

## 脱ゆとり教育

2011年 H23

2013年 H25

2015年 H27

教育内容10%↑ 授業時間↑

学力学習状況調査で静岡県小国Aビリ

川勝県知事「成績の悪い学校は公表する」

総合教育会議、政治による教育の介入

- ・ お祭り、縦割り、遠足、音楽会、美術展縮小、廃止
- ・ 学校行事縮減・裁量の時間の廃止
- ・ 総合の内容が教師によって決められるようになる
- ・ 学習状況調査は「練習するな」から「練習しろ」へ
- ・ 音楽、図工・美術などは縮減
- ・ プログラミング・コミュニティースクール・小中一貫など
- ・ 特休をとる教師が増える。
- ・ 授業研究を進める市教研がなくなる。
- ・ 若い先生が自主的に学ぶ場がなくなる。

○学校が子どもにとって生活の場ではなく、学習だけの場に

○座学中心 多様な社会経験を扱わない学校へ

○子どもの「トータルな人間力」の衰退

自主的な実践力・想像力、人間関係をつなぐ経験↘

○学校の授業崩壊 → 不登校児童生徒や引きこもりの増加

○そこで育った人が教員になる

○教採が高校入試並みの倍率に

○半数が教採を受けない教育学部

○放課後デイ（子どもの囲い込み）

ゲームやさん



たてわりかつどう



あきまつり



ひみつきち



のうぎょうたいけん



かわあそび



虫とり



どろんこあそび



# しずおか自主夜間教室

結果、不適応が増えている？  
子どもも大人も・・・・・・・・



## 公立夜間中学校とは何か

- 中学教育を受けられなかった人に、義務教育の機会を提供
- 現在では東京や大阪、兵庫など、全国に40校設置
- 県教育委員会は今年、磐田市と三島市に設置

## 自主夜間中学校（教室）とは何か

- 「学びたい」という人は、だれでも受け入れる
- 教職員が指導する「学校」ではない。学習者のニーズに添う

# 公立夜間中学校の生徒の歴史

戦後の混乱で、学校へ行くことができなかった人たち

部落差別を受けた在日朝鮮人

中国残留孤児

静岡市で256人（R2）  
その数倍は引きこもり状態？

形式卒業者

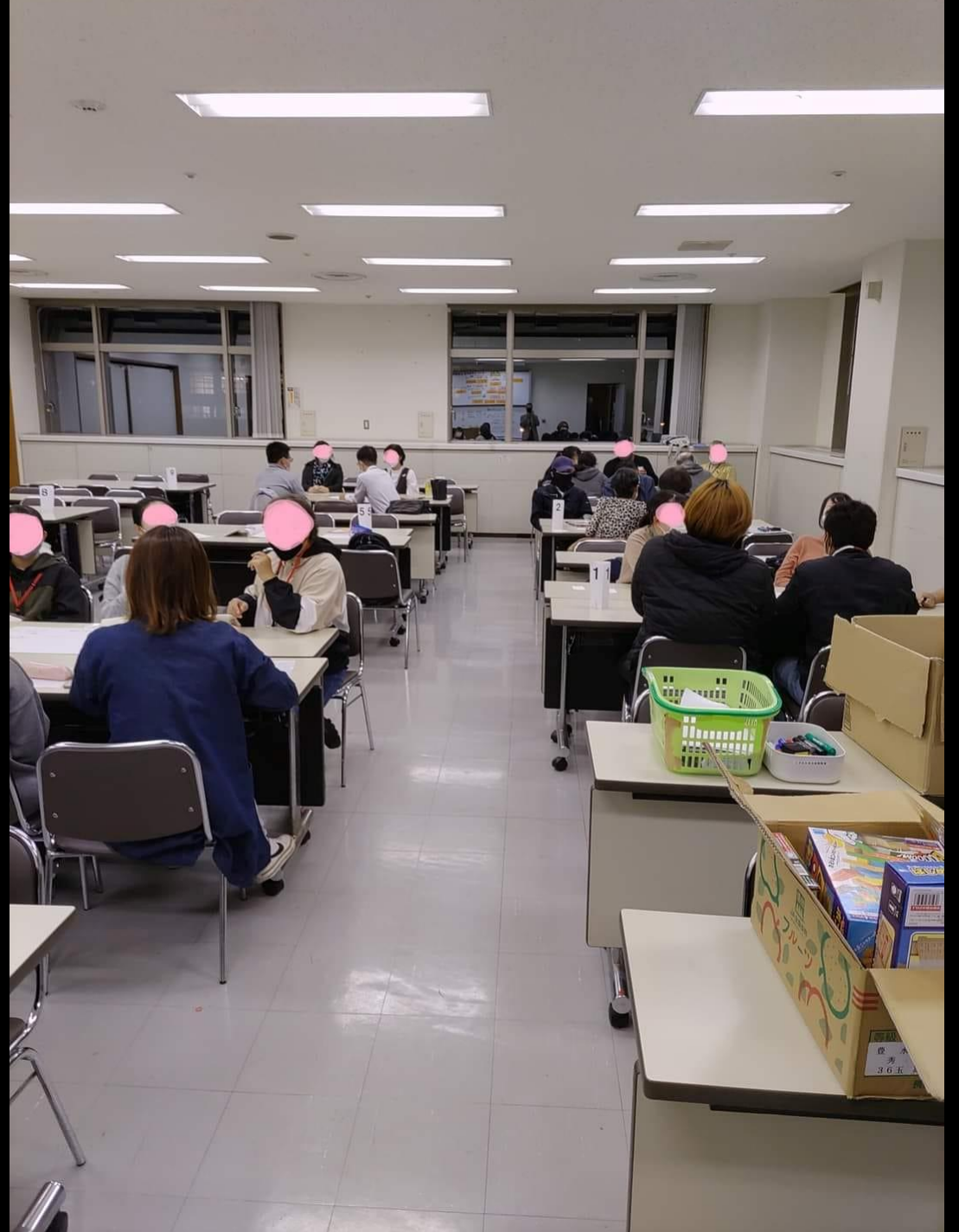
静岡市不登校児童生徒は1177人（R1）

新渡日外国人

静岡市外国人人口8028人（H29）







2020 9月スタート



R4 現在

学習者：フィリピン7    インドネシア2  
ベトナム1    バングラデシュ3  
ガーナ1    日本4

ボランティア：教育関係者    福祉関係者  
大学生など    30名

開校してわかったこと

始めは学習支援だと思っていた！

○形式卒業者にとって、学習だけでない問題

- ・生活すべての面で、サポートが必要。
- ・中学校を卒業すると、社会から姿が消える。
- ・誘うことが困難。長続きしない。
- ・生活や今後の人生をまるごとサポートできない。社会参画困難。

○在留外国人にとって、日本社会への適応が難しい

- ・12年住んでいても、読めない書けない。相談する日本人がいない。
- ・お知らせが役所から来てもわからない。
- ・職場のいじめ。行政手続き。再就職支援。
- ・「ヤスミガナイ・・・」ブラック企業に搾取されている？

# 学校の話にもどります・・・

かれこれ20年近く

○子どもに任せなくなった。

○子どもが友達と相談しながら、一つのことを成し遂げる機会が激減した。

○教師は、目の前で孤独に苦しんでいる子どもを見ないで、教科書を見るようになった。

教材・サービス / 授業

2023.1.10 Tue 5:55

教職員の勤務実態調査、精神疾患の休職が過去最多…年末年始の教育業界ニュースまとめ読み

運動会、体育祭、文化祭などの行事の中止、本当にそれでいいのか？【学校再開後の重要課題(2)】



妹尾昌俊 | 教育研究家、一般社団法人ライフ＆ワーク代表理事  
2020/6/4(木) 14:30



## 公立小教員の採用試験、受験者数が続落 異例の定員割れも 朝日調査

有料記事

塩入彩 武田啓亮 編集委員・氏岡真弓 2023年1月20日 5時00分



コメントプラス

武田緑さんなど3件のコメント



公立学校教員採用試験の受験者数の推移

公立小学校教員の2023年度採用試験の受験者が、全国で3万8641人だったことが各地の教育委員会への取材でわかった。文部科学省が昨秋公表した22年度採用試験の受験者数より約2千人少なく、教員の長時間労働が問題となるなか、受験者数の減

平成の大合併で、人々は幸せになりましたか？

「効率」「経済」という尺度で学校再編が行われるとしたら・・・

失ったら、二度と戻らない。そこに「価値」を見出すなら、体を張る価値がある。